

北小学校学校だより

創



児童数384人
(家庭数 291)

HPアドレス <http://www.edu.city.atsugi.kanagawa.jp/kita-es/>

第7号

発行所

厚木市立北小学校

編集責任者

小林 正徳

平成30年11月6日

全国学力学習状況調査より

4月17日に全国の6年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」の結果が、7月末に文部科学省から公表されました。今年度は、国語、算数に加え、理科の調査を実施しました。

本校の結果を見てみると、国語・算数・理科とも全国の正答率を下回っており、全体的な力不足を感じるところではありますが、基礎・基本の学習に力を入れてきた成果が徐々にあらわれてきています。

主として「知識」を求められる国語Aの問題では、ここ6年間で一番良い結果になりました。中でも、「図書館への行き方の説明として適切なものを選択する問題」では、県と全国の正答率を2%、「物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する問題」においては6%も上回る結果が出ています。他の教科の結果を見ても、全国の正答率より10ポイント以上のマイナスが見られたものはなく、全体的に伸びが見られます。これまで苦手としてきた、主として「活用」が求められる国語B・算数Bの問題においても、「むし歯を防ぐ効果について保健の先生から聞いた話を取り入れて書く（目的や意図に応じ内容の中心を明確にして書く）問題」や「敷き詰められた模様の中から条件に見合った図形（合同な正三角形）を選択する問題」で県や全国の正答率を上回る結果が見られました。理科では、上流側の天気と下流側の水位の関係など、複数の情報を関連付けて分析する問題や電流の向きが変わる回路の問題で、県や全国よりも良い正答率になりました。

一方で、主語と述語の関係に注意して文を書いたり、話し手の意見を自分と比べて聞いたりまとめたりするなど、文と文とのつながりの理解や考えを比較してとらえる力などに課題が見られました。算数では、百分率や円周率、角の大きさを求める設問において誤答が目立ちました。B問題では、記述式問題の無解答が多く、条件を変更して考えたり、示された方法で表現することを求められたりすると正答率が落ちる傾向にありました。理科では、他者の予想から結論を導き出したり、結果を見通して実験を構想したりする問題に苦戦していました。

今回の結果を真摯に受け止め、子どもたち同士の関わりや体験的な活動を大切にしながら、とりわけ条件に合わせて対応する力や相手に伝わるように表現できる力を伸ばしていきたいと思えます。

意識調査からは、「将来の夢や目標を持っている。人の役に立つ人間になりたい。地域の行事に参加している。授業が面白い、もっと知りたい。」というものから、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」など、とても前向きで、一昨年から学校全体で取り組んできた国語科学習の成果が感じられる回答も多く嬉しい限りです。一方で、「計画を立てて学習する。学校以外での勉強時間。新聞を読む。」ことにおいては、全体的に数値が低い傾向にありました。

これらの結果を踏まえ、学校では個々の学力を伸ばすため、引き続き、漢字検定、読書、九九検定、音読に取り組み、考えてわかる授業、読む力をしっかり身につけさせる授業を目指し、さらなる授業改善に取り組んでいきたいと考えます。家庭学習については、「ステップアップ家庭学習」を定着させ、自主学習にも積極的に取り組んでいけるよう働きかけていきたいと思えます。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

2020年度の新しい学習に向けて

平成31年度の学校教育は、2020年度から始まる新学習指導要領の移行期間の2年目になります。今年度から授業時間の増加により、北小学校では、夏休み期間を短縮し教育計画を見直しました。来年度、生活時間の基本はこれまでと変わらず、通常・水曜・特別日課を予定しています。また、始業式など短縮3時間の日を4時間にし、2学期の始業式を4日ほど早めて夏休みを短縮することで、授業時数の確保を考えています。なお詳細につきましては、年度末の学校だより等で改めてお知らせします。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

生活リズムを整えよう ～ 睡眠と朝食の大切さ～

朝、「おはよう」と声をかけても、ボーっとした子が見受けられます。「昨日の夜、何時に寝ましたか？」と聞くと、「10時過ぎ」「12時過ぎ」、時には「2時ごろかな」という子もいます。なにをしていたのかを聞くと、たいてい「ゲームをしていました。」「動画サイトを見ていました。」という答えが返ってきます。夜に強い光（スマホやタブレット、パソコンなどの光）を浴びることは、眠りを妨げ、「夜ふかし」の原因になります。「子どもは夜になったら自然に眠るもの」ではありません。昼間に体を十分に動かしているからこそ、「眠くなる」のです。

「夜ふかし」をすることで、朝早く起きることができず、体内時計を整えるのに重要な「朝の光」を浴びることができなくなります。時間がなくて、朝食を抜くことにもつながります。「夜ふかし」「朝、光を浴びない」「朝食を抜く」「昼の活動量が少ない」ということは、脳の発達に影響のあるホルモン（セロトニンなど）が分泌されにくくなるそうです。睡眠不足から、「イライラする」「間違いが多くなる」「きちんとしていられない」「頭がぼんやりする」といったことを訴える子もいます。この状態では、集中して学習に取り組むことも難しくなります。そして、これらは感情の抑制にも関わりがあることです。

睡眠と学習の関係については、2003年の広島で行われた調査で、睡眠時間が5時間以下の子に比べ、8時間・9時間眠っている子は、テストの平均点が20点近く違うという結果も出ています。

「早起き」することで、朝食をとり、昼間元気に活動し、夜は強い光をできるだけ浴びずに早く眠る。生活リズムを整えることが、学力や感情の抑制を支える第一歩になります。

読書の秋 ～子どもたちにも大人にも読書のすすめ～

11月1日から北小学校の読書月間が始まりました。毎日20～30人くらいの子どもたちが、図書室や絵本の森に本を借りに来てくれます。毎日8時30分からの10分間の朝読書では、どのクラスも読書に集中する子どもたちの姿が見られます。とてもよい習慣が身についていると思います。

読書という行為は、言葉と密接に関わっています。言葉は、他者とのコミュニケーションに必要というだけでなく、たとえ誰とも一言も話さない日でも、私たちは心の中で無意識に言葉を使っています。言葉を使わなければ、自分で考えることができません。自分で考えることができないと、学習面でも困りますが、大人になっていく過程でも、困ることがたくさんあります。

先日のNHKスペシャルでは、健康寿命をのばすための方法として、大人にも読書をすすめていました。「心が動くと体が動く」という言葉がある通り、読書をすることで行動を起こすきっかけが与えられ、それが健康寿命をのばすことにつながる、ということでした。子どもたちが、幼いころから読書が身近に感じられて、本を読むことが好きになってくれるとよいと思います。私たち大人も、子どもたちと一緒に「読書の秋」を楽しみましょう。



12月の行事予定



- | | |
|---|---------------------------------------|
| 3日（月）PTAあいさつ運動（6学年）
学校保健委員会（4～6年生・保護者） | 13日（木）租税教室（6年生） |
| 4日（火）日産わくわくエコスクール（5年生） | 14日（金）クラブ活動 日本語教室
ALT |
| 5日（水）音楽朝会（1・4年生）
たてわり活動・たてわり給食 | 18日（火）特別日課5校時
給食終了 |
| 6日（木）書き初め練習（3・5年生） | 19日（水）特別日課4校時 |
| 7日（金）委員会活動 日本語教室 ALT
ブロック交流会（学習室） | 20日（木）特別日課4校時
愛のパトロール15:30～ |
| 10日（月）北っ子塾・九九検定
書き初め練習（4・6年生） | 21日（金）2学期終業式 |
| 11日（火）いのちいちばんの日 代表委員会
人権移動教室（6年生） | 23日（日）天皇誕生日 |
| 12日（水）朝会 ねこばす（昼休み） | 24日（月）振替休日
冬季休業 12月22日から
1月7日まで |